



平成20年の災害発生状況とその対応

農村振興局 防災課 災害対策室

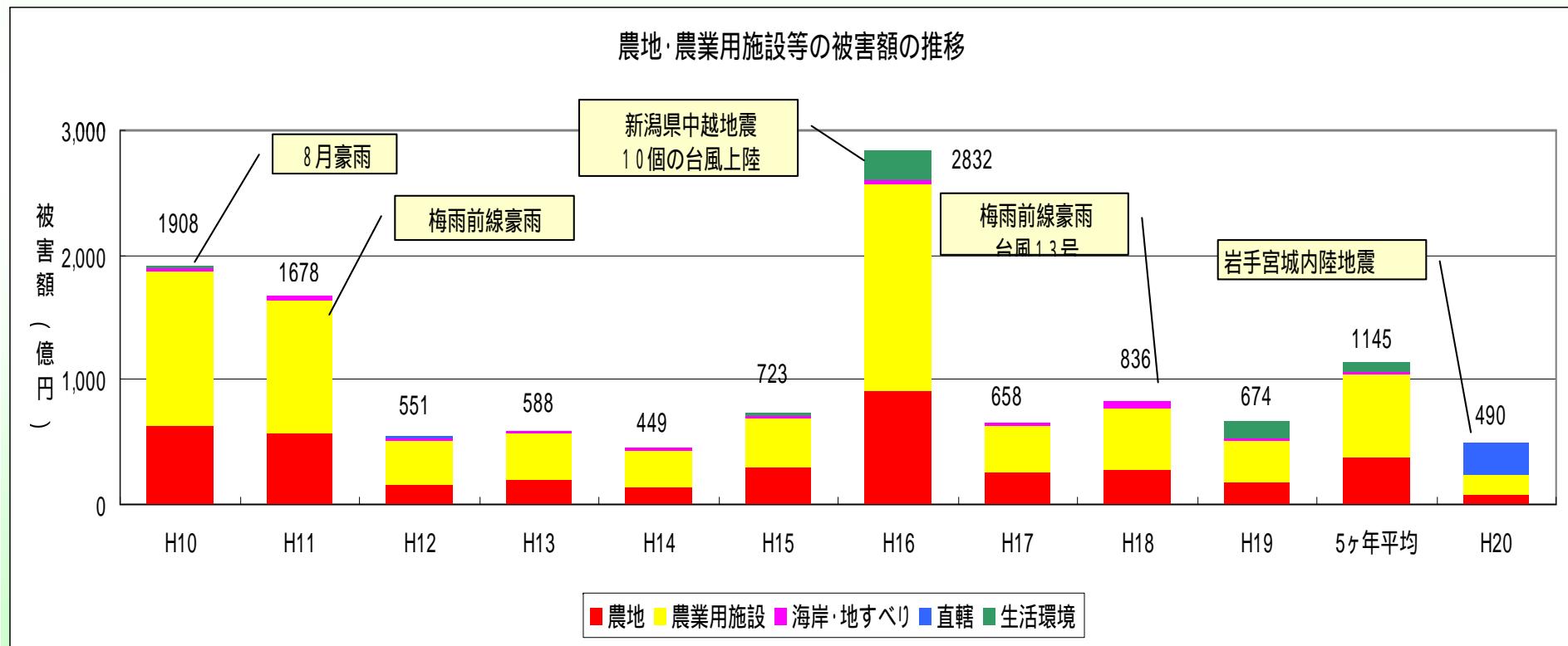
岩手・宮城内陸地震による荒砥沢ダム上流の大規模地すべり（宮城県栗原市）

1. 農地・農業用施設等における被害状況（平成20年）

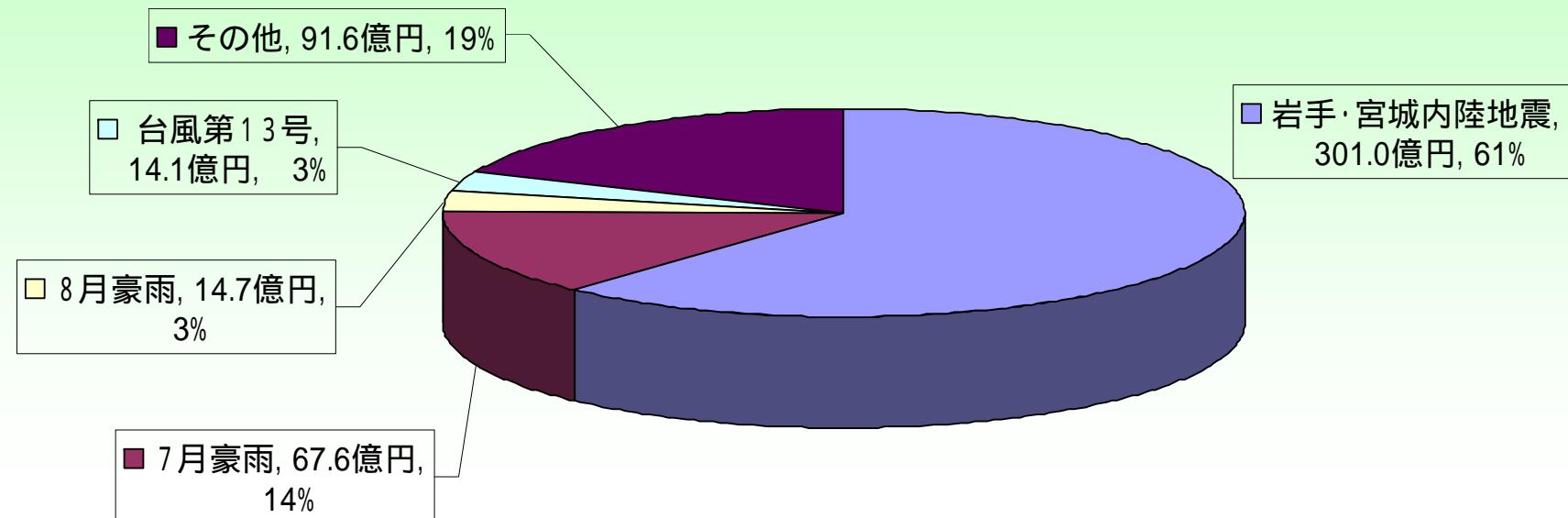
全国の被害報告額 490億円
(過去5ヶ年の平均被害額 1,145億円の約4割)

岩手・宮城内陸地震や7月末の豪雨等により大きな被害が発生

岩手・宮城内陸地震による被災が約301億円



主な災害別被害の割合



被害額の大きい上位10県

(単位:百万円)

順位	県名	農地	農業用施設	海岸・地すべり	直轄	生活関連	計	主要災害
1	宮城	179	2,961	-	24,970	-	281.1 億円	岩手・宮城内陸地震
2	富山	1,862	2,670	-	-	-	45.3 億円	7月豪雨
3	岩手	513	2,177	-	-	17	27.1 億円	岩手・宮城内陸地震
4	石川	862	1,613	36	-	40	25.5 億円	7月豪雨
5	鹿児島	558	1,097	-	-	-	16.6 億円	梅雨前線豪雨、台風13号
6	熊本	371	782	-	-	-	11.5 億円	梅雨前線豪雨
7	宮崎	303	694	-	-	-	10.0 億円	台風13号、梅雨前線豪雨
8	長崎	503	362	-	-	-	8.7 億円	梅雨前線豪雨
9	福岡	117	596	-	-	-	7.1 億円	梅雨前線豪雨
10	新潟	153	368	-	-	-	5.2 億円	7月豪雨、8月豪雨

岩手・宮城内陸地震の状況

6月14日午前8時43分頃、岩手県内陸南部の深さ8kmを震源とするM7.2の地震が発生し、岩手県奥州市と宮城県栗原市で震度6強、宮城県大崎市で震度6弱を観測したほか、東北地方を中心に北海道から関東・中部地方にかけて震度5強～1を観測した。

その後、余震が北北東から南南西に延びる長さ約45km、幅約15kmの領域で発生するなど、岩手県、宮城県を中心に大きな被害が発生した。

【地震の状況】

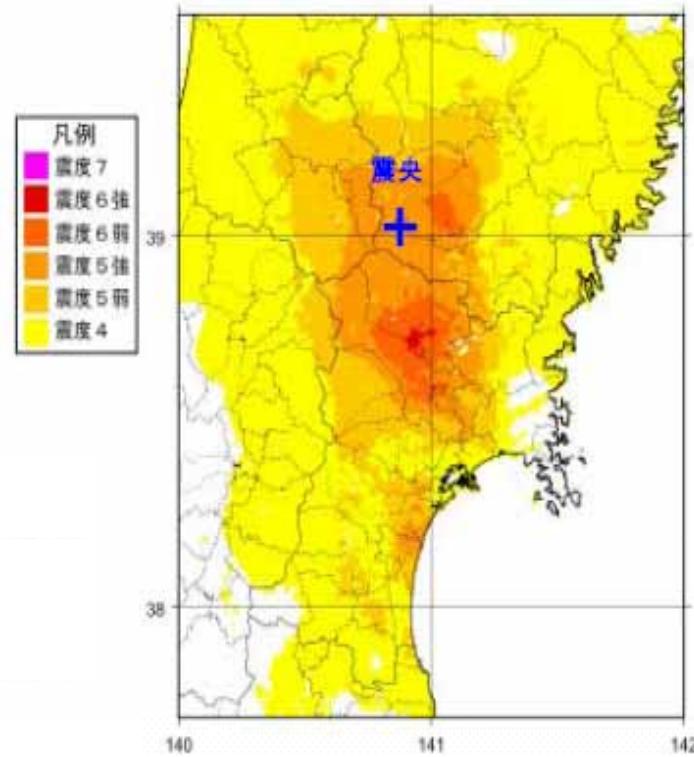
発生時刻：平成20年6月14日8時43分頃

震源の位置：岩手県内陸南部 北緯 39度01.7分
東経140度52.8分

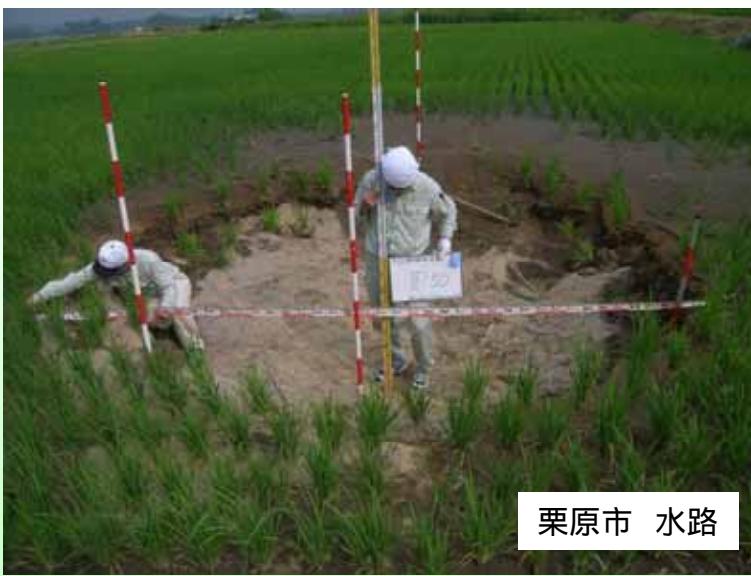
震源の規模：マグニチュード 7.2

各地の震度：
震度 6 強 岩手県奥州市、宮城県栗原市
震度 6 弱 宮城県大崎市
震度 5 強 岩手県北上市、一関市、金ヶ崎町、
平泉町
宮城県仙台市、登米市、名取市、
加美町、涌谷町、美里町、利府町
秋田県湯沢市、東成瀬村

推計震度分布（震央周辺拡大図※：震度4以上のみ表示）



地震による被災状況



7月豪雨の気象状況及び被災状況

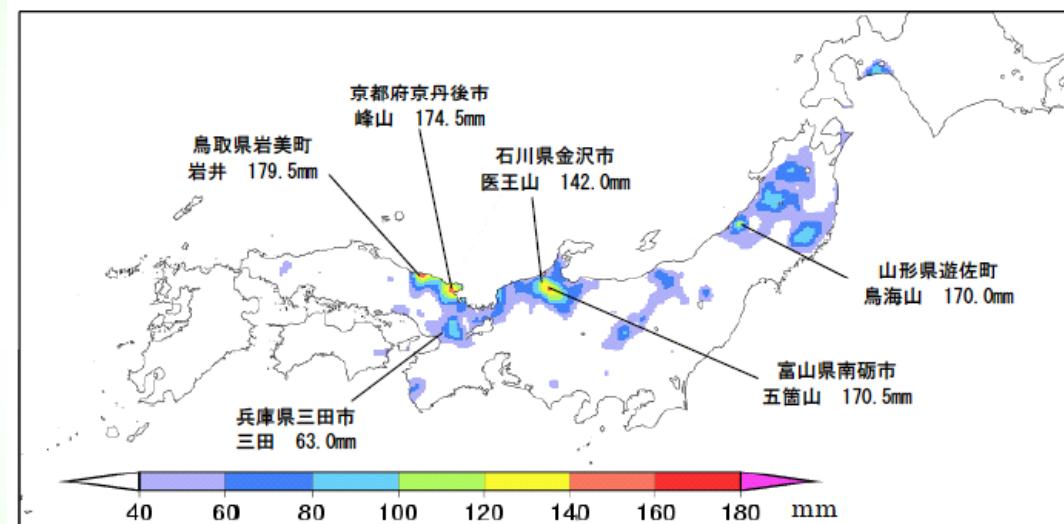
7月27日から7月29日にかけて、日本付近は上空の寒気と下層の暖かく湿った空気により大気の状態が不安定となり、中国、近畿、北陸、東北地方を中心に大雨となった。

28日は、北陸、近畿地方を中心に局地的な大雨となり、5時間の間に富山県南砺市で143mm、石川県金沢市で111mmを観測。また、京都府京丹後市で1時間に81mmを観測した。

29日は、中国地方で大雨となり、鳥取県岩美町で5時間の間に118mmを観測した。

これらにより、富山県、石川県、京都府を中心に大きな被害が発生した。

期間降水量分布図（7月27日～29日）



2. 平成20年災害への対応

(1) 被災地への政府調査団等派遣

被災地の被害状況や被災者の要望等を把握し、早期復旧の支援を行うため、政府調査団等に災害対策室長等が随行

災害名	派遣名	日時	派遣県
岩手・宮城内陸地震	政府調査団	6.14	岩手、宮城
	(衆)災害対策特別委員会	6.21	岩手、宮城
	(参)災害対策特別委員会	7.2	岩手、宮城
	今村副大臣現地視察	6.17	岩手、宮城
岩手県沿岸北部地震	政府調査団	7.24	青森、岩手
7月豪雨	(参)災害対策特別委員会	8.7	石川
8月末豪雨	政府調査団	8.29	愛知

(2) 被災地への専門家等派遣

被災したため池、地すべり等の現地に農村振興局・地方農政局の担当官、農村工学研究所の専門家等を派遣し、技術的指導・助言を実施

災害名	派遣回数	派遣先(都道府県)
5月豪雨	1	和歌山
岩手・宮城内陸地震	16	岩手、宮城
岩手県沿岸北部地震	1	青森
7月豪雨	12	富山、石川、岡山
8月末豪雨	3	愛知
台風第13号	3	三重、沖縄

岩手・宮城内陸地震では、この他に政府現地連絡対策室への派遣を実施(6月19日～7月14日)



豪雨による法面崩壊の被災状況調査



地震によるダムの被災状況調査

復旧工事に対する
指導・助言を実施

(3) 査定前着工の活用

災害査定を待たずに着工できる「査定前着工」を積極的に実施

(単位:箇所)

災害名	農地	農業用施設	海岸保全施設	生活環境	合計
全 災 害	5	51	0	1	57
うち岩手・宮城内陸地震	0	5	0	0	5
梅雨前線豪雨	3	3	0	0	6
7月豪雨	1	31	0	1	33
8月豪雨	1	4	0	0	5

(査定前着工の実施できる事例)

- 緊急に復旧すれば次の作付け時期に間に合う農地・農業用施設の復旧箇所
- 被災施設の更なる被害防止が必要な箇所
- 作物被害を防止することが必要な箇所
- 生活に直結した施設(集落排水施設)等

被災状況(H20.6.22 撮影)



山腹崩壊により排水路が埋没

応急工事完了(H20.7.9 完了)



土砂撤去により排水機能回復

(4) 災害査定・事務手続きの迅速化・簡素化

災害復旧事業費算定の簡素化

積み上げによらない簡易な事業費の算出方法である「総合単価方式」の対象範囲を拡大

災 害 名	対 象 県 名	現 行	拡大後
岩手・宮城内陸地震	岩手、宮城	500万円 未満	<u>1,000万円</u> 未満

災害査定の迅速化

被災現場での確認を要しない「机上査定」の対象範囲を拡大

災 害 名	対 象 県 名	現 行	拡大後
岩手・宮城内陸地震	岩手、宮城	200万円 未満	<u>500万円</u> 未満

資料整備の簡素化

「気象資料」の公的機関の証明の省略

従 前	簡 素 化 後	適用
公的機関の原本証明	公的機関がインターネットで 公表しているものの原本証明 を省略	平成20年7月7日以降 の査定から適用

(5) 災害応急用ポンプの貸出

地方農政局土地改良技術事務所の保有する災害応急用ポンプを貸出

災 害 名	台 数	貸 出 期 間	備 考
岩手・宮城内陸地震	13	6月20日 ~	岩手県、宮城県
7月豪雨	15	8月 1日 ~ 10月16日	富山県、石川県

台数は貸出台数の合計値である。

備考欄は貸出された地域の存する県である。

(6) 復旧支援室の設置

岩手・宮城内陸地震において被災した県・市町村等に対して早期復旧に向けた技術支援を実施するため、「農地・農業用施設復旧支援室」を設置

災害名	設置場所	開設時期
岩手・宮城内陸地震	いさわ南部農地整備事業所内	平成20年7月1日
	大崎農業水利事務所内	平成20年7月1日